



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 アルビス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7475 URL <https://www.albis.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 池田 和男
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理本部長(氏名) 藤井 秀亮 (TEL) 0766-56-7200
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	25,003	3.9	341	△28.4	483	△23.2	256	△37.7
2025年3月期第1四半期	24,068	1.0	477	△1.6	629	△3.0	410	△2.4

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 267百万円(△39.2%) 2025年3月期第1四半期 439百万円(△7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	30.15	—
2025年3月期第1四半期	47.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	56,193	31,976	56.9	3,775.72
2025年3月期	52,890	32,322	61.1	3,768.75

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 31,976百万円 2025年3月期 32,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	50,809	5.1	930	15.9	1,170	10.2	585	△14.4
通期	102,084	4.0	2,258	9.4	2,813	8.0	1,630	0.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ― 社 (社名) 、除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	9,255,926株	2025年3月期	9,255,926株
2026年3月期1Q	786,983株	2025年3月期	679,383株
2026年3月期1Q	8,492,110株	2025年3月期1Q	8,650,799株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の継続的な拡大等により、景気は緩やかに回復基調を維持するものと予想されますが、原材料価格・電気料等の高留まりや物価上昇に伴う消費支出の低迷、米国の通商政策による世界経済への影響等、先行き不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、継続する物価高の影響から消費者の節約志向はさらに強まることが想定されることに加え、業種業態を超えた競争の激化や人件費の上昇、電気料・物流費の高留まり等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「食を通じて地域の皆様の健康で豊かな生活に貢献します」の企業理念のもと、前期より3年間（第58期～第60期）のビジョンを示した第四次中期経営計画を進めております。

第四次中期経営計画では「私のお店と言ってもらえるアルビスファンを増やす」を経営方針とし、「お客さまを笑顔にする商品の提供」「お客さまが楽しく快適に買い物できる店づくり」「働きがい、やりがいを感じられる職場環境の実現」「持続的な成長に向けた業務基盤の強化」「事業を通じた地域社会の課題解決」の5つを重点施策として、以下のとおり取り組んでおります。

「お客さまを笑顔にする商品の提供」については、多様化するお客さまニーズに応えるため、健康志向や簡便即食商品を拡充するとともに、今年度より商品部内に新たに「商品開発課」を設置し、名物商品などの高付加価値商品の開発を推進しております。また、お客さまの節約志向に応えるため、PB商品の拡大や300品目をお値打ち価格で提供する食卓応援企画などを継続して実施するとともに、2025年6月より、各自治体の子育て応援企画と連携した子育て世代を応援する施策「ハピマル」として、毎週土・日曜日にお買い物金額から5%を割引くサービスをスタートしております。

「お客さまが楽しく快適に買い物できる店づくり」については、店舗運営の標準化により顧客満足度の向上を図るとともに、最新MDを導入した店舗改装を順次実行しております。既存店については、2025年5月に「大広田店」（旧ルミネス店 富山県富山市）を建替え新店としてオープンし、7月には「杜の里店」（石川県金沢市）を改装オープンしております。また、8月には小商圈戦略店舗の富山県内一号店となる「アルビスくらすSOGAWA」（富山県富山市）のオープンを予定しております。秋には「太閤山店」（旧パスコ店 富山県射水市）の建替えオープンを予定しております。

「働きがい、やりがいを感じられる職場環境の実現」については、新入社員から経営幹部までの各階層に応じた研修を実施するとともに、DX人材や女性管理職育成に向けた教育プログラムを実施しております。また、従業員が健康でやりがいを感じながら働ける職場環境の実現を目指し、健康維持・増進に向けた各種施策を実施する等、健康経営に取り組んでおります。

「持続的な成長に向けた業務基盤の強化」については、店舗運営の標準化や電子棚札（ESL）の導入等により店舗の生産性の向上を図るとともに、プロセスセンターにおいては継続的な原価改善と品質向上に努めております。

「事業を通じた地域社会の課題解決」については、地域行政との連携を通じて様々な課題解決に取り組んでおります。食品ロス削減への取り組みとしては、リレーフードドライブ活動の実施を継続して取り組んでおります。また、熱中症特別警戒アラートの発表時には店舗のイートインスペースをクーリングシェルターとして開放するとともに、お客さまに熱中症の正しい知識をもって対策を伝えることができるよう、社員に対し「熱中症対策アンバサダー」の修得を推進しており、約500名が認定を受けております。お客さまに安心してお買い物いただけるお買い物支援と地域の見守りに取り組む「移動スーパー」は、2025年6月末現在24台で運行しております。

2050年の脱炭素社会実現の一環として、温室効果ガス（GHG）の測定のほか、SDGs目標達成へ向けた環境保全への活動を「albis Green Action」と総称し取り組んでおり、6月には、環境月間にあわせ、より意識を高めてもらう機会として、環境やリサイクルについてまとめた学習まんが本『食品トレーのひみつ』を射水市内の小学校及び図書館へ寄贈いたしました。また、店舗では、トレー・ペットボトル回収などのリサイクル活動に加え、太陽光パネルを今年新たに11店舗に設置し再生可能エネルギーの利用を拡大するとともに、食品廃棄量の削減に向け、従来の消滅型に加え循環型の生ごみ処理機の導入に取り組むなど、サステナブルな生活提案と環境負荷低減を推進しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間（2025年4月～6月）は、前期新店（1店舗）や建替え新店（2店舗）の効果もあり、営業収益25,003百万円（前年同期比3.9%増）となりました。利益面では、商品値上げや急激な相場変動等の影響があったものの、高利益商品やPB商品等の販売拡大とプロセスセンターの原価改善により売上総利益率は前年同期と同水準となりました。一方、賃金増など人的資本への積極的な投資を行ったことに加え、前期新店・建替え新店等の店舗投資に係る減価償却費が増加した影響等により、営業利益341百万円（前年同期比28.4%減）、経常利益483百万円（前年同期比23.2%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、海産プロセスセンターの建設に伴う既存設備の解体費用等を特別損失として計上したことにより、256百万円（前年同期比37.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,303百万円増加し、56,193百万円となりました。

この主な要因は現金及び預金の増加額2,691百万円、売掛金の減少額260百万円、建物及び構築物（純額）の増加額1,333百万円、有形固定資産その他（純額）の減少額369百万円等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ3,650百万円増加し、24,217百万円となりました。

この主な要因は買掛金の減少額156百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加額939百万円、未払法人税等の減少額354百万円、賞与引当金の減少額304百万円、長期借入金の増加額3,406百万円等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ346百万円減少し、31,976百万円となりました。

この主な要因は利益剰余金の減少額44百万円、自己株式の取得による減少額313百万円、その他有価証券評価差額金の増加額11百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2025年4月30日に「2025年3月期決算短信」で公表しました内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,218	8,910
売掛金	2,821	2,561
商品	2,614	2,596
原材料及び貯蔵品	219	207
その他	2,877	2,830
貸倒引当金	△77	△80
流動資産合計	14,674	17,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,856	18,190
土地	11,357	11,335
その他（純額）	4,098	3,729
有形固定資産合計	32,313	33,255
無形固定資産		
その他	897	890
無形固定資産合計	897	890
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,420	3,413
その他	1,805	1,829
貸倒引当金	△221	△220
投資その他の資産合計	5,004	5,022
固定資産合計	38,215	39,168
資産合計	52,890	56,193
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,546	5,389
1年内返済予定の長期借入金	1,919	2,858
未払法人税等	460	106
賞与引当金	633	329
その他	4,642	4,687
流動負債合計	13,202	13,372
固定負債		
長期借入金	4,650	8,056
受入敷金保証金	638	712
資産除去債務	882	884
その他	1,193	1,191
固定負債合計	7,364	10,845
負債合計	20,567	24,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,908	4,908
資本剰余金	5,633	5,633
利益剰余金	23,174	23,130
自己株式	△1,669	△1,983
株主資本合計	32,047	31,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	275	286
その他の包括利益累計額合計	275	286
純資産合計	32,322	31,976
負債純資産合計	52,890	56,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	23,813	24,742
売上原価	16,634	17,281
売上総利益	7,178	7,460
不動産賃貸収入	255	261
営業総利益	7,433	7,722
販売費及び一般管理費	6,956	7,380
営業利益	477	341
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	11	10
受取手数料	9	8
受取販売奨励金	62	66
その他	89	86
営業外収益合計	175	178
営業外費用		
支払利息	7	21
出向者給与	17	15
その他	0	0
営業外費用合計	24	36
経常利益	629	483
特別損失		
固定資産除却損	—	79
特別損失合計	—	79
税金等調整前四半期純利益	629	403
法人税、住民税及び事業税	42	64
法人税等調整額	175	83
法人税等合計	218	147
四半期純利益	410	256
親会社株主に帰属する四半期純利益	410	256

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	410	256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	11
その他の包括利益合計	28	11
四半期包括利益	439	267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	439	267
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当する事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当する事項はありません。

（会計方針の変更）

該当する事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当する事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
減価償却費	544百万円	628百万円
のれん償却額	0	—